

プレスリリース

米国と中国がリードし、世界の富は引き続き増加

クレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートが、「2018年グローバル・ウェルス・レポート」第9版を発行

東京、2018年10月29日 クレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートの**2018年グローバル・ウェルス・レポート**によると、**2018年半ばまでの12ヵ月間で世界の資産総額は14兆ドル(4.6%)増加し317兆ドルに達し、伸び率は人口の伸びを上回りました。成人1人当たりの資産額は3.2%増加し、世界の平均資産額は63,100ドルとなり、過去最高を記録しました。**

世界の富に最も貢献したのは米国で、6.3兆米ドル増加して米国の資産総額は98兆米ドルとなり、資産総額と成人1人当たりの資産は2008年以降途切れることなく毎年増加しています。中国は家計の資産が世界第2位に躍進し、2.3兆米ドル増加し52兆米ドルに達しました。過去12ヵ月間で非金融資産の伸びが加速し、北米を除くすべての地域の伸びに拍車がかかり、中国と欧州では富の増加の75%、インドでは資産の増加のほとんどを非金融資産が占めています。

表 1: 2017年半ば～2018年半ばの家計資産総額の地域別推移

	資産総額		資産総額の推移	
	2018年 (10億米ドル)	2017年中盤以降の増減 (10億米ドル)	2017年半ば以降の増減率 (%)	
アフリカ	2,553	109	+4.4	
アジア太平洋* (中国とインドを含む)	114,561	3,346	+3.0	
欧州	85,374	4,430	+5.5	
中南米	8,055	-415	-4.9	
北米	106,514	6,486	+6.5	
世界	317,056	13,957	+4.6	

注：現在の米ドル建て

出所: James Davies, Rodrigo Lluberas and Anthony Shorrocks, クレディ・スイス グローバル・ウェルス・データブック 2018

主な調査結果: 日本

- 日本の富は2018年半ばまでの12ヵ月間で2%増加して24兆米ドルに達し、米国と中国に次いで世界第3位でした。

- 日本の成人 1 人当たりの平均資産額は 2018 年半ばまでの 12 ヶ月間で 2.1%増加して 227,235 米ドルに達しました。2000 年の 191,990 米ドルと比べると 18%の増加にとどまりました。伸び悩みの理由は、株式市場と不動産の不安的な動き、低金利や以前よりも貯蓄率が低下していることにあります。
- ミリオネア層は 94,000 人(3.4%)増加して 280 万人に達し、世界のミリオネア層の約 7%を占め、世界では第 3 位となっています。
- 日本は超富裕層の数が 3,580 人と世界で 5 番目に多く、前年より 2.9%、数にして 100 名程度増加しました。

本レポートにおける定義：

ミリオネア層=100 万米ドル以上の資産を有する成人

超富裕層=5 千万米ドル以上の純資産を有する成人

グローバル・ウェルス・レポートで取り上げている主なテーマ:

- **女性と富**

女性が保有する資産は推定で世界の資産全体の約 40%を占めていますが、富に占める割合は 20 世紀の間に大きく上昇したものの、2000 年以降は足踏みしている可能性があります。レポートではポートフォリオ構成の相違、リスク回避、女性のミレニアル世代に与える影響とともに、女性と富の様相が世界中でどう異なるかを取り上げています。

- **世界の富のピラミッド**

世界の富のピラミッドを構成する最上位の 2 つの層（資産が 10 万米ドル超）は世界の人口の 9.5%に相当し、全体で世界の富の 84.1%を所有していますが、昨年の 86%からは低下しています。最下位の 2 つの層は世界の人口の 90.5%を占め、全体で世界の富の 15.8%に当たる 50.4 兆米ドルを所有しています。昨年の 40 兆米ドルと比べると大幅に増加しており、世界的に富の格差が縮小傾向にあることを裏付けています。

- **富の見通し**

今後 5 年間で世界の富は 26%近く増加し、2023 年までに 399 兆米ドルに達すると予想されています。現在の富に占める新興国の割合は 21%に過ぎませんが、増加分の 32%は新興国によるものです。ミリオネアの数は今後 5 年間で大幅に増加し、過去最高の 5500 万人に達する見通しです。日本のミリオネアの数 は 2018 年の 280 万 9000 人から 34%増加して、2023 年には 376 万 9000 人にのぼるとみられています。

投資調査部門のグローバル・ヘッドであるナネット・ヘシュラー・フェデルブ (Nannette Hechler Fayd'herbe) は、次のように述べています。

「今年は特に世界の女性の富の見通しについて掘り下げることができました。世界的に見ると男女間に富の格差は残っており、それが他より顕著な地域もありますが、年とともにその差は大幅に縮小しており、教育を受けて労働市場に参加する女性が増えるにつれて、今後も差は縮まるとみられています。自分の力でビジネスで成功し最も高い富の階層にランク付けされる女性が増える兆候もあります。しかし、進歩が最も顕著な国でさえ、課題は残っています。女性が富を築き、相続し、共有する平等な機会を持てるようにするには、為されるべきことはまだ多くあります。」

日本の投資最高責任者（CIO Japan）である松本聡一郎は、次のように述べています。

「今年のレポートは、2018年半ばまでの12ヵ月間で世界の資産が4.6%、成人1人当たりの資産が3.2%増加し、人口の伸びを上回ったことを示しています。日本では、金融資産価格も住宅価格も着実に上昇していません。そのため、家計における金融資産の相対的な重要性はほとんど変化せず、総資産の62%という比較的高い水準を保っています。負債は減少し、総資産の11%と国際基準と比べ低めです。日本はジニ係数63%から分かるとおり、他の主要国よりも富が平等に分配されています。平均資産が依然として高いこととともに、相対的に平等なことから、資産が1万米ドル未満の成人は全体の5.3%にとどまっています。資産が10万米ドル以上の人口の割合は世界平均の5.4倍です。人口規模と富を反映して、日本は世界で最も富裕な上位1%のうちの7%を占めています。」

表2：2017～2018年のミリオネアの数別の国別推移

増加した主要国				減少した主要国			
国	100万米ドル以上の資産を有する成人(千人)			国	100万米ドル以上の資産を有する成人(千人)		
	2017	2018	増加人数		2017	2018	減少人数
米国	16,472	17,350	878	ブラジル	190	154	-36
フランス	1,888	2,147	259	オーストラリア	1,320	1,288	-32
ドイツ	1,929	2,183	253	スウェーデン	368	348	-20
英国	2,189	2,433	244	トルコ	96	79	-16
イタリア	1,161	1,362	200	アルゼンチン	29	21	-9
中国	3,294	3,480	186	ニュージーランド	162	155	-7
日本	2,715	2,809	94	イスラエル	117	111	-6
スペイン	792	852	60	メキシコ	115	109	-6
オランダ	438	477	40				
カナダ	1,257	1,289	32				
世界	39,845	42,155	2,310	世界	39,845	42,155	2,310

出所：クレディ・スイス グローバル・ウェルス・データブック 2017

グローバル・ウェルス・レポート 2018年をご希望の方は、www.credit-suisse.com/gwr をご覧ください。

情報源や方法論についての全容もグローバル・ウェルス・データブック 2018に記載されています。

ます。

クレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートのグローバル・ウェルス・レポートについて

クレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートが発行したグローバル・ウェルス・レポート第9版は、世界の家計の富について入手可能な最も包括的かつ最新の情報を提供しています。経済活動に対する世界の家計の富の重要性にもかかわらず、家計の富の水準と分布、両方に関するデータは驚くほど不完全です。本レポートは公表済みの情報と、データが存在しないものに関する入手可能な最良の推定を組み合わせ、独自のデータベースを構築することにより、そのギャップを埋めることを目指しています。グローバル・ウェルス・レポートは、富のピラミッドの上位層の億万長者から、研究で見過ごされがちな中・低位層まで、200を超える国々の50億人の成人が保有する富に関するデータから構築されています。長年の分析によって確立された堅固な方法論により、グローバル・ウェルス・レポートの基となる情報源とその質についても、透明性の高い情報が提供されています。

クレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートについて

クレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートはクレディ・スイス社内のシンクタンクです。このインスティテュートは2008年の金融危機後に、金融サービス業界内および金融サービスを越えた世界的な影響を持つ（または持つことが約束される）長期的な経済発展を研究する目的で設立されました。詳細情報につきましては、www.credit-suisse.com/researchinstitute をご覧ください。

メディアのお問い合わせ先

クレアブ株式会社（広報代理） 恵木、種房

Tel: 03 5404 0640

E-mail: credit-suisse-pr@kreab.com

クレディ・スイスについて

クレディ・スイス AG は、世界有数の金融機関であり、クレディ・スイス・グループ（以下「クレディ・スイス」）の子会社の1つです。クレディ・スイスの戦略は世界屈指のウェルス・マネージャー、専門的なインベストメント・バンキング能力、母国スイスでの強力な存在感という強みの上に成り立っています。ウェルスマネジメントに対してバランスの取れたアプローチで臨み、成熟市場の多額の資産プールとアジア太平洋その他の新興国市場における資産の大幅な拡大を活用しつつ、スイスを中心に主要先進国にもサービスを提供しています。クレディ・スイスは、約45,430人の従業員を擁しています。親会社クレディ・スイス・グループ AG の株式（CSGN）はスイスおよび米国預託証券（CS）としてニューヨークで上場しています。詳細は以下をご覧ください。www.credit-suisse.com

免責事項

本資料は、クレディ・スイス・リサーチ・インスティテュートにより提供されるもので、ここで提示される意見は別途記載された場合を除き、全て資料作成時のものであり、変更されることがあります。本資料は情報提供のために、また受領者が使用することのみを意図して作成されたものです。本資料は、クレディ・スイスにより、またはクレディ・スイスに代わって証券の売買について募集したり勧誘するものではありません。過去の実績に関する言及は、将来の指針になるとは限りません。本資料に掲載されている情報や分析は、信頼できると考えられる情報源から編集または結論付けられていますが、クレディ・スイスはその正確性または完全性を表明するものではなく、クレディ・スイスはそれらを使用した場合に生じる損失について、一切責任を負うものではありません。